

第3回総合計画審議会（R2.11.27）におけるご意見と回答

No.	基本構想 項目	意見内容	回答
1	全体	これまでの富士市の計画、実施の失敗面（新幹線の富士駅を当初誘致できなかったこと、富士駅と新富士駅が離れていて大変不便であること、富士駅周辺の開発が不十分であること、市内に事業所を置く大企業と富士市行政との話し合いが不十分で都市計画に遅れがあること、大学がなくなってしまったこと）についてあまり反省がなく、過去の失敗を検証しつつ、先々を考えるという視点を感じない計画のように思える。言葉がきれいに並んでいるだけで、こうしたいのだという強い信念を感じない。	これまでのまちづくりについては、行政が市民の皆様を交えて検討を行う中で、その時点において最適と思われる選択をしてきたと考えておりますが、現在において振り返ると、違う選択肢があったのではないかという考え方もあります。第六次総合計画では、社会経済情勢が目まぐるしく変化する中でもぶれずに計画を進めていくために、未来を起点として課題の整理（今何をすべきか）を考えるバックキャストの考え方を取り入れています。バックキャスト方式により10年後のその先まで時代を展望し、まちづくりの視点を踏まえ、10年後のめざす都市像を明示した上で、そこから逆算して施策の大綱をまとめています。
2	全体	現況調査と市民のニーズを検証し、将来を見越して、理念と思想をもって、計画を作るべき。その理念は、選挙で選ばれている市長1人のものをたたき台として記していいと思う。	他都市では、行政の最高責任者として首長の主義主張や公約を反映するため、総合計画の期間を首長の任期に合わせている事例があります。しかしながら、本市の総合計画の基本構想及び基本計画は、社会経済情勢が短期間に大きく変革する中でも、中長期的な視点を踏まえ、多くの市民等の意見や議論を反映して市議会の議決により策定となる計画であります。したがって、市長の公約の事業は、総合計画の基本構想及び基本計画を踏まえながら、実施計画に反映していくこととし、市議会においても市長がその旨を答弁しています。

No.	基本構想項目	意見内容	回答
3	全体	<p>静岡県東部で最も人口が多い都市であり、産業の面でも他市町より生産高が高いので、東部のリーダーシップの都市としての役割を担ってもいいはずだが、市としての気概が感じられない。地域的に真ん中に位置しなくても、富士市は東部の第1主要都市として、様々な面でリーダーシップを取ってもいいと思う。</p>	<p>序論の第1章「計画策定の目的」において、「本市が…(中略)…地域を牽引する中核的な都市として持続的に発展していくためには」と記載しており、今後の広域行政の中で本市がリーダーシップを発揮する場面もあるものと考えています。</p> <p>また、広域行政について具体的には、今後策定する基本計画の「総合計画を推進するための取組」に「広域行政の推進」として位置付けることを予定しています。</p> <p>基本構想の中では、「広域行政の推進」につなげるために、「基本構想」の第1章「まちづくりの視点」の「つなぐ」において、「近隣自治体などとの繋がりをより一層深め、地域全体で魅力を高めるまちづくりを進める必要があります。」と記載しています。</p>
4	全体	<p>11月市議会定例会で海野市議が質問する第六次総合計画と富士30年構想の整合性と、SDGs未来都市計画との関わりと整合性がどのようになっているのか、よく理解できない状態である。この3つの関係性と整合性を市民にわかりやすく伝えることが重要だと考える。</p> <p>計画や構想をいろいろと作り、市民への情報提供として、紙媒体の配布用を準備しても、読んでもらえずに、やっている感の証拠づくりだけになって、絵に描いた餅にならないかと危惧している。</p>	<p>富士30年構想は、市制30周年という節目の年である1996年に、30年後の2025年を見据えて、将来を長期的に展望したグランドデザインとして、本市が理想とする姿を描いたものです。この超長期的なまちづくりの指針である30年構想の方向性に沿って、具体的な施策を位置付ける計画が従来の総合計画です。</p> <p>第六次総合計画との整合については、平成30年に策定方針を作成する際に、これまでの総合計画の流れを整理し、その際に「富士30年構想」についても位置付けや内容を確認しました。</p> <p>「富士30年構想」と第六次総合計画の策定の方向性は大筋で合致していることから、「富士30年構想」を尊重し踏まえながら策定作業を進めています。</p> <p>SDGs未来都市計画は、SDGs未来都市として今後取り組んでいく事業を中心に記載している計画であり、第六次総合計画においても未来都市計画に位置付けた取組を盛り込み整合性を図っていきます。</p>

No.	基本構想 項目	意見内容	回答
5	全体	この計画案を作成したのは少数の職員であると思うが、女性がいたのであろうか。	策定にあたっては、事務局である企画課が素案を作成し、庁内の策定プロジェクト会議や部長級職員で構成する策定委員会で議論を重ねていますが、どの場面においても女性職員がメンバーとして関わっています。
6	P2 富士市のあらまし	《位置・地勢》の2段落目「広域交通の要衝となっています。」とある。一見、そのように見えるが、東部の都市の中で人口が最も多い都市であり、工業もそれなりに発展してきたのに、要衝であると思うが、市外に向けてのアピールが足りず、その存在感が薄いように思われる。	市外に向けてのアピールについては、今後お示しする基本計画の中で具体的な施策として検討します。
7	P2 富士市のあらまし	新幹線の富士駅を当初、誘致できなかったこと、富士駅と新富士駅と離れていて大変不便であること、富士駅周辺の開発が不十分であること、市内に事業所を置く大企業と富士市行政との話し合いが不十分で都市計画に遅れがあること、大学があったのに、なくなってしまったことなど、こういった富士市の発展において負の面(≒失敗)についての反省を踏まえての計画の意義が伝わってこない。 上記の点は、現在から見れば、過去を今さらとなり、現在の関係者に関係ないという批判もあるかもしれないが、富士市の現在の不便さと停滞は、過去の計画の失敗、先見性のなさも一部起因すると考えられる。	(No.1の回答と同様) これまでのまちづくりについては、行政が市民の皆様を交えて検討を行う中で、その時点において最適と思われる選択をしてきたと考えておりますが、現在において振り返ると、違う選択肢があったのではないかとということもあります。 第六次総合計画では、社会経済情勢が目まぐるしく変化する中でもぶれずに計画を進めていくために、未来を起点として課題の整理(今何をすべきか)を考えるバックキャストの考え方を取り入れています。バックキャスト方式により10年後のその先まで時代を展望し、まちづくりの視点を踏まえ、10年後のめざす都市像を明示した上で、そこから逆算して施策の大綱をまとめています。
8	P5～10 序論 第1～3章	文頭に「こうした中」という言い方が多用されている。他の言い方もあると思いますし、単純に削除でも十分問題がない箇所もあるため、見直した方がよいのではないかと。	6箇所「こうした中」を使用しています。 以下の箇所において、削除します。 ・第1章 時代の展望の7)デジタル化の加速の2段落目の文頭の「こうした中」を削除

No.	基本構想 項目	意見内容	回答
9	P5 序論 第1章 計画策定の目的	これから人口減少が進むのは確実であるので、その現実に合わせて対策を、減っても人々が暮らしやすい富士市となるように、現実として達成可能な目標をもつ計画として策定したほうがいい。	ご意見のとおりだと考えます。人口減少を抑制する施策も必要ではありますが、同時に人口減少に適応するまちづくりが必要であり、それを踏まえた計画としていきます。
10	P5 序論 第1章 計画策定の目的	若い世代の人口確保を本気で考えるならば、専門学校、市外の人たちも魅力を感じ、富士市で学びたい、この大学で是非学びたいと思われる領域をカバーする大学など高等教育機関を市内に設立し、それに連なり、関係する企業の誘致が必要だと考える。	18歳人口が減少していく中で、新たに高等教育機関を設立することは非常に難しい状況であると認識しています。しかしながら、市内高校生の進学受け皿、卒業後の地元企業への就職、行政等が設置する委員会等への学識経験者としての参画、授業やサークル活動を通じた学生のまちづくりへの貢献など、大学などの高等教育機関が市内にあることの利点は多いと考えます。このため、今後も設立や誘致の可能性などについて情報収集や研究に努めていきます。
11	P5 序論 第1章 計画策定の目的	富士市の公式サイトでは、現在人口の表示が何度もクリックしなければ出てこない。本当に人口の流出を心配し、富士市の人口の増加を望むならば、富士市の人口、外国人数がわかる表示をトップページにもってくるべき。 私はこの10年ほど、何度も広報広聴、シティプロモーション課、市長へ手紙、市議さん等々を通じて、この件をお願いしてきたが、変化なしである。いまだに4回ほどクリックしないと人口までたどり着けない。市側にとっては小さなことかもしれないが、1回のクリックで富士市の人口が直ぐにわかるシステムでないことも、こういった総合計画を検討するときには不便である。	トップページに人口の情報を直接掲載していない理由ですが、本市のウェブサイトは、コンテンツ管理システム(CMS)により作成されています。このシステムを利用することにより、ウェブサイトの管理において多くの利点があることから、多くの自治体で採用されています。 本市が採用しているCMSの製品には、トップページへの人口表示機能が盛り込まれていませんが、スマートフォンへの対応、災害時における非常用サイトへの切り替え、システム自体の堅牢性やセキュリティ、他自治体への導入実績などを総合的に考慮し、現在の製品を選定しました。 なお、現在は、富士市ウェブサイトの「くらしと市政」のトップページの富士市の紹介という項目にある「統計情報」をクリックして開いたページに、最新の総人口と世帯数の紹介があり、そちらで確認していただくことができます。

No.	基本構想 項目	意見内容	回答
12	P5 序論 第1章 計画策定の目的	<p>常葉大学富士キャンパスは設立する際にはそれなりに富士市が尽力した大学であり、市外から富士市で学んだ人材が育ったのに、その後が続かず、貴重な人材育成の場を失ったことは市政の失敗の1つであると思う。富士市の人口問題と産業、次世代育成のためにマイナスになっている。そういった教育を通じて、人口問題の解決にもつながる機会を失った失敗を今後の発展に活かすべく、計画を作らねば作る意義がないように思われる。</p> <p>また、このようなコロナ禍になったときに、市内に大学があれば、教育面で多様な使い方ができたと思う。さらに、大学があれば、必ず付随して国際交流は進む。</p> <p>富士市にはノーベル賞受賞者が出るほどのすぐれた研究施設をもった企業があるのだから、大学院レベルの大学を設置する力はあると思うが、そのような発想が市長などにはない。</p> <p>また、市内在住と出身者の中には、大学で十分に教えることができる能力をもつ人たちは多くいる。そういった方々には地元で社会貢献したいという気概をもつ人が多いと思われるので、そういう人材の活用もできるのに勿体ない。</p>	<p>開学以来、本市の高等教育の推進や産学官連携を支える大きな柱であった、富士地域唯一の大学が無くなることは大きな痛手でありました。</p> <p>しかしながら、18歳人口が減少していく中で、多くの大学が、生き残りを賭け、人を集めやすい都心にキャンパスを移設し、経営の安定化を図る都心回帰を進めており、常葉大学富士キャンパスの撤退も、こうした問題に対応するための経営上の判断でした。</p> <p>常葉大学富士キャンパスの撤退後は、大学にこだわらず多くの高等教育機関を対象として市場調査やアプローチを行ってきました。今後も設立や誘致の可能性などについて情報収集や研究に努めていきます。</p>
13	P5 序論 第1章 計画策定の目的	<p>富士市と富士宮市の公式サイトは似ている。請負業者が同じなのであろうか。ウェブサイトは富士市の1つの顔でもあるので、使いやすさの独自性を考えた方がいい。</p> <p>両市の市外の人たち、特に県外の方々の中には、地名と公式サイトを通じてもどちらも似たような市のようなイメージをもっているか、富士宮の方が富士より遙かに有名で知られている。明らかな富士市の独自性を計画で掲げて、公式サイトにもそれを反映した方がいいと思う。</p>	<p>ウェブサイトの在り方も含めたシティプロモーションについては、今後お示しする基本計画の中で具体的な施策として検討します。</p>

No.	基本構想 項目	意見内容	回答
14	P5 序論 第1章 計画策定の目的	見直し案において削除された「東京圏への一極集中には歯止めがかからず、今後更に人口の偏在が進む可能性があります。」について、重要な視点だと考えるため残したほうがよいのではないか。また、8ページの「○東京圏への一極集中」に繋げる意味でも残したほうがよい。 (例)→「また、東京圏への一極集中…(略)…可能性があります。こうした中、令和2(2020)年には、新型コロナウイルス感染症が…(略)…多大な影響を与えました。」	1段落目の最後に加えるよう修正します。 「平成20(2008)年をピークに人口の減少局面に入っている我が国では、…(中略)…既に様々な分野において課題が顕在化するとともに、東京圏への人口一極集中には歯止めがかからず、今後更に人口の偏在が進む可能性があります。」 2段落目は原文のとおりとします。
15	P5 序論 第1章 計画策定の目的	短い章内に3回、コロナと表記されており目につくので2つ目は、「求められるほか、新たな感染症への備えも…」としてはいかがか。	ご意見のとおり修正します。
16	P6 序論 第2章 計画の構成と計画期間	2行目の「計画期間については、基本構想は長期的な視点を踏まえ10年間とし、」の文章を、「計画期間については、基本構想は長期的な視点を踏まえ令和4年度から令和13年度の10年間とし、」のように、ここで計画期間を明記した方がよいのではないか。	ご意見のとおり修正します。
17	P7,8 序論 第3章 時代の展望	P7の1行目では「団塊ジュニア世代」とあるが、P8の6行目では「団塊世代ジュニア」となっているため、「団塊ジュニア世代」に合わせるべきではないか。	ご意見のとおり修正します。

No.	基本構想 項目	意見内容	回答
18	P8 序論 第3章 時代の展望	2 地方都市衰退の危機の「○東京圏への一極集中」の1段落目「東京圏への転入超過が止まらない中、…(略)…大学進学や就職、転職を機に東京圏へ転出する若者が多いことがうかがえます。」とあるが、転出・転入は東京圏あるいは富士市どちらの視点から記しているのか。全国的な地方都市なのか、富士市に限ってなのかで、捉え方が変わってくる。富士市であれば、転出となるのではないか。	時代の展望は全国的な状況について記載しているため、ここでは東京圏の視点からの記載としていますが、冒頭は「東京圏への転入超過が止まらない中」としている一方で、文末では「東京圏へ転出する若者が」としており分かりづらいため、以下のように修正します。 「東京圏への転入超過が止まらない中、15歳から29歳が転入超過の大半を占め、大学進学や就職、転職を機に地方から東京圏に転入する若者が多いことがうかがえます。」
19	P8 序論 第3章 時代の展望	2 地方都市衰退の危機の「○東京圏への一極集中」の1段落目「東京圏への転入超過が止まらない中、…(略)…大学進学や就職、転職を機に東京圏へ転出する若者が多いことがうかがえます。」とあるが、「超過」とは「数量等が一定の限度を超えること」を意味すると思うため、富士市として基準としている転出者数が何人とか、東京圏としての基準数があるのか。ないのであれば、超過は削除した方がよく、「超過」がなくても真意は伝わるのではないか。	「超過」の意味はご意見のとおりであります。ここでは「転入超過」を1つの言葉として使用しています。これは転入数が転出数を上回っている状態をいいます。「東京圏への転入が止まらない中」だけでは、転入が止まっていないが、転出もそれ以上にいる可能性があるため、ここでは「転入超過」という言葉を使用しています。
20	P8 序論 第3章 時代の展望	2 地方都市衰退の危機の「○東京圏への一極集中」の1段落目「東京圏への転入超過が止まらない中、…(略)…大学進学や就職、転職を機に東京圏へ転出する若者が多いことがうかがえます。」とあるが、15～29歳までの転入のデータあるいはグラフとかが示されているならば、それを見て「うかがえます。」という表現でよいと思うが、示されていないため、「傾向にあります。」など表現を検討してみたいかがか。	ここでは、転入超過となっている年代が15～29歳という年齢であることから、その理由として大学進学や就職、転職が多いことが推測されるという意味で、「うかがえます」としてあります。
21	P8 序論 第3章 時代の展望	2 地方都市衰退の危機の「○東京圏への一極集中」の4段落目「一方で…」の新たな文章が、「感染拡大により…、テレワークの普及により…」と『より』が重なる事で読みにくいので「大都市における感染リスクが高まり、テレワークが普及し、…」に変更してはいかがか。	新型コロナウイルスの感染拡大により、大都市における感染リスクが高まったことと、テレワークの普及により東京圏に住む利点が薄れたことの2つの理由により、地方移住に関心を持つ人が増加していると考えられるため、「テレワークが普及し、東京圏に住む利点が薄れ」と修正します。

No.	基本構想 項目	意見内容	回答
22	P8 序論 第3章 時代の展望	2 地方都市衰退の危機の「○東京圏への一極集中」の4段落目「大都市における感染リスクが高まるとともに」は、現在(第3波)の富士市をはじめ地方都市の状況を見ますと、こうは言い切れないと考えられるため、削除したらどうか。 (例)→「一方で、新型コロナウイルスの感染拡大によるテレワーク等の普及により…(略)…増加しました。」	地方都市においても感染は拡大していますが、大都市はその人口の多さや公共交通の利用頻度、イベント等の充実など、感染リスクは地方都市と比較し高いと考えます。この点も地方移住に関心を持つ人が増加している理由であると考えます。
23	P9 序論 第3章 時代の展望	3 危機管理の強化の1、2段落目「猛暑や集中豪雨などの…(略)…進められています。」「また、災害発生の…(略)…進められています。」とあり、同じ言い方が近いのではないか。また、「…られています」という表現は、市では取り組んでいないので、このような表現をしていると理解してよいか。	1段落目の文末を「取組が行われています。」に修正します。また、時代の展望は全国的な内容を記載しているため、本市においても取り組んではいますが、「…られています」という表現としています。
24	P9 序論 第3章 時代の展望	3 危機管理の強化の3段落目「新たな感染症への備えが進むと予想されます。」とあるが、「予想されます」という言い方でよいか。少し強い言い方がよいのではないか。 (例)→「加えて、新型コロナウイルスの感染拡大…(略)…から、新たな感染症への対策が強く求められています。」	時代の展望では先々を見通した中で、語尾を「予想されています。」「予測されています。」という表現で統一しています。

No.	基本構想 項目	意見内容	回答
25	P10 序論 第3章 時代の展望	5 グローバル化とインバウンドへの対応について、富士市においてのグローバル化とインバウンドとは何かを知りたい。インバウンドは日本語としては何を意味するのかに触れてほしい。	<p>本市におけるグローバル化とは、外国人市民を地域で暮らす生活者として認め、共に理解し合い、日本人市民と同じ地域の担い手として活躍してもらい多文化共生社会を実現することです。</p> <p>また、本市におけるインバウンドとは、その対応として本市を訪れる外国人旅行者に対して、文化や風習の違いを理解した取組など、国際的な視点でのおもてなしをこれまで以上に充実させていくことです。なお、市内の外国人宿泊客の国籍を見ると、中国が最も多く、次いで韓国、台湾、アメリカ、タイの順となっています。</p> <p>グローバル化とインバウンドへの対応については、今後お示しする基本計画の中で具体的な施策として検討します。</p> <p>インバウンドについては、用語説明を加えるなどの対応を図ります。なお、意味としては、一般的には「外国人が日本を訪れる旅行」のことを指しています。日本語では「訪日外国人旅行」「訪日旅行」と言うこともできます。</p>
26	P10 序論 第3章 時代の展望	5 グローバル化とインバウンドへの対応について、富士市の人口は日本国籍だけであると25万を切っているが、外国国籍の方々の6,000人弱を加えると25万となる。外国人の方々が住んでいるおかげで、なんとか25万を超えている。この現実をふまえた計画が必要だと思う。今、働きに来ている外国人の方々が定住する場合もありえて、その後、政治参加、こういった総合計画の審議に参加することも必要になると思われる。外国人に無理解な市民も少なからずいる。外国人といっても多様である。	<p>令和2年5月までは外国人市民は増加を続けており、ご意見のとおり、今後のまちづくりにおいて外国人市民抜きに考えることはできないと考えます。</p> <p>グローバル化とインバウンドへの対応については、今後お示しする基本計画の中で具体的な施策として検討します。</p>

No.	基本構想 項目	意見内容	回答
27	P10 序論 第3章 時代の展望	5 グローバル化とインバウンドへの対応の1段落目「出入国管理及び難民認定法の改正に伴い外国人労働者が増加してきました。」とあるが、法改正は課題解決のために行われるため言い方を変えた方がよいのではないか。 (例)→「深刻な労働力不足を背景に外国人労働者が増加してきました。」	ご意見のとおり修正します。
28	P10 序論 第3章 時代の展望	5 グローバル化とインバウンドへの対応の2段落目「また、訪日外国人旅行者数についても…(略)…外国人旅行者が増加しました。」とあるが、地方を訪れる外国人はリピーターが多いため、「また、観光立国の実現を推進したことにより訪日外国人旅行者数は、令和元(2019)年には2年連続で3,000万人を超え7年連続で過去最高を記録しており、リピーターの増加により地方を訪れる外国人旅行者が増加しました。」としたらいかがか。	ご意見のとおり修正します。
29	P10 序論 第3章 時代の展望	7 デジタル化の加速の2段落目「こうした中、デジタル化の推進は…(略)…進めています。」とあるが、「デジタル化の推進は、我が国が抱えてきた多くの課題の解決や、今後の経済成長にも資することから、国や自治体は、押印手続きの見直しなど行政のデジタル化を加速させています。」としたらいかがか。	国が進めるデジタル化は、行政だけでなく、社会全体のデジタル化であるため、原文のとおりとします。
30	P11 序論 第3章 時代の展望	7 デジタル化の加速の3段落目「デジタル化を加速し」について、前後の文と上手く繋がっていないため、「さらにデジタル化を加速させ」もしくは「デジタル化が加速し」に変更してはいかがか。	主語がないため上手く繋がっていないように感じられるため、「あらゆる産業や社会生活においてデジタル化を加速させることにより」と修正します。

No.	基本構想 項目	意見内容	回答
31	P12 序論 第4章 市民意識 ① 世論調査	円グラフの色使いについて、大変住みやすいと住みやすいは肯定的なくくりで、同系の色、例えば、赤と黄色とかを使用し、住みにくい、大変住みにくいは同様に、水色と青とかにする方が見やすいと思うがいかがか。 下の円グラフも、肯定的な意見は赤系、否定的な意見は青系とか、上と合わせる方が良いのかなと思うがいかがか。	ご意見のとおり修正します。
32	P20 基本構想 第3章 施策の大綱	「安心できる暮らしを守るまち」の2行目「一人ひとりの人生が輝き」ですが、「一人ひとりが輝き」の方が、よいのかなとも思うがいかがか。	ご意見のとおり修正します
33	P23 基本構想 第4章 めざす都市像 の実現に向け て	SDGsとデジタル変革についての説明が主な内容になっているように思え、「めざす都市像の実現に向けて」という題目の章としては、物足りなさを感じ、文書も難しい表現になっているような気がする。 例えば、①SDGsの達成に向けた取組の2段落目「行政課題を世界標準の考え方に則り発想し」や「経済・社会・環境の統合による相乗効果の創出」など、個人的には分かり難いと感じるがいかがか。	ご意見を踏まえ、表現の一部を修正します。 基本構想においては、SDGsとデジタル変革の理念や意義を中心に記載し、基本計画に繋ぐための概要説明としていますが、今後基本計画において、具体的な各施策との関連を表す中で、できるだけわかりやすい記述や表現をしていきます。
34	P23 基本構想 第4章 めざす都市像 の実現に向け て	目標をどのように達成していくのか、具体的なことが伝わってこない。まず、市民にSDGsとは何かをわかりやすく周知することが重要。 富士市のSDGs未来都市計画と整合性をもって6次計画を作ることが必須。複数の似たような計画があることで市民は混乱する。 市では、来年度、男女共同参画条例の改正、パートナーシップ制度が開始される。それらとも整合性をもって計画を作った方がいい。 パートナーシップ制度があることも含めて、富士市への定住を希望する人も現われることは十分に考えられる。	基本構想においては、SDGsの理念や意義を中心に記述していますが、基本計画において、各施策とSDGsの関連性や具体的な目標について示していきたいと考えています。 「SDGs未来都市計画」は、SDGs未来都市として今後取り組んでいく事業を中心に記載している計画であり、第六次総合計画においても未来都市計画に位置付けた取組を盛り込み整合性を図っていきます。 また、男女共同参画条例の改正やパートナーシップ制度などについても、基本計画の中で関連計画などとして位置づけ、整合性を図っていきます。

No.	基本構想 項目	意見内容	回答
35	P23 基本構想 第4章 めざす都市像 の実現に向け て	<p>1 SDGsの達成に向けた取組の中に、2021年から富士市で始まるパートナーシップ制度について記載があると、富士市が先進的な市であることを概要の時点でアピールすることができると思う。</p> <p>例えば都心から静岡県にUターン、Iターンを検討する人が、富士市にパートナーシップ制度があることから、富士市への移住を決めることがあるかもしれない。</p> <p>全国的にもまだ例が少なく、実現できたことは素晴らしいことだと思うので、市として制度が形骸化しないよう、総合計画の中でも大きな転換期として記載があるとよい。</p>	<p>ご案内いただいた「パートナーシップ宣誓制度」は、ジェンダー平等、多様性を尊重した先進的な取組事例で、SDGsの達成に向けた社会の側面からの取組の具体例であり、第六次総合計画の中で記載していく必要があるものと考えています。</p> <p>経済、社会、環境の側面からの具体的な施策の紹介は、10年間の計画期間である基本構想よりも5年間の基本計画の中で位置付ける方がより適切と考え、「パートナーシップ宣誓制度」を含め、各施策の具体的な事業や取組については、基本計画の中で記載していきたいと考えています。</p>
36	P23 基本構想 第4章 めざす都市像の 実現に向けて	<p>1 SDGsの達成に向けた取組の2段落目一文が長すぎて読んでも内容が入ってきませんでした。</p> <p>「SDGsの達成に向け、市民や民間事業者等とパートナーシップを組むことで、複雑化・多様化する行政課題を世界基準の考え方に則り発想、解決することができます。また、地域固有の課題の解決や特徴を生かした発展に結びつけること、住民の生活の質の向上に資する施策の推進、経済・社会・環境の統合による相乗効果の創出などにも繋がります。」ということか。もう少し一文が簡潔な方が読みやすいのではないか。</p>	<p>ご指摘を踏まえて以下のとおり修正します。</p> <p>「SDGsの達成に向け、市民や民間事業者等とのパートナーシップにより取り組むことで、複雑化・多様化する行政課題を世界標準の考え方で発想し、解決していくことや、地域固有の課題の解決や特長を活かした発展に結びつけることができます。また、生活の質の向上に資する施策の推進や経済・社会・環境の3側面をつなぐ統合的取組による相乗効果の創出などにも繋がります。」</p>
37	P23 基本構想 第4章 めざす都市像 の実現に向け て	<p>1 SDGsの達成に向けた取組の2段落目「住民の生活の質の向上」など「の」の使用が多い。</p>	<p>「生活の質の向上」に修正します。</p>

No.	基本構想 項目	意見内容	回答
38	P23 基本構想 第4章 めざす都市像 の実現に向け て	1 SDGsの達成に向けた取組の3段落目「本市のめざす都市像の実現とSDGsの達成に向け取り組んでいきます。」とあるが、語尾は「取り組んでまいります。」ではないか。	謙譲語はできる限り使用しない方向で記述していきたく、原文のとおりとします。
39	P23 基本構想 第4章 めざす都市像 の実現に向け て	1 SDGsの達成に向けた取組の3段落目「政策推進の全体最適化」は、施策ではなく政策でよろしいのか。	「施策」に比べ、より広い意味を有する「政策」の文言の方が当該箇所においては適していると考えていますが、「全体最適化」の意味が理解しづらい面もあり、当該部分を削除し、簡潔な文章に修正します。
40	P23 基本構想 第4章 めざす都市像 の実現に向け て	1 SDGsの達成に向けた取組の3段落目「政策推進の全体最適化」とあるが、この全体最適化を「政策推進の全体の最適化」または「政策推進全体の最適化」としたほうがよいのではないか。後者のほうがよい気がする。	「政策推進の全体最適化」の文言を削除し、簡潔な文章に修正します。
41	P23 基本構想 第4章 めざす都市像 の実現に向け て	1 SDGsの達成に向けた取組の2段落目「生かした」は、「活かした」に統一した方がよいのではないか。	ご意見のとおり修正します。

No.	基本構想 項目	意見内容	回答
42	P23 基本構想 第4章 めざす都市像 の実現に向け て	2 デジタル変革を加速する取組の2段落目「社会的課題の解決を図る諸施策の推進に当たり」のみにデジタル変革を加速させるように感じますが、この表現はいかがか。	「諸施策の推進」には、7つの施策の大綱に含まれる諸施策の推進の意味であり、原文のとおりとします。
43	P23 基本構想 第4章 めざす都市像 の実現に向け て	2 デジタル変革を加速する取組の2段落目「諸施策の推進に当たり」の「当たり」は平仮名がよいのではないか。	ひらがなに統一する方向で検討します。
44	P23 基本構想 第4章 めざす都市像 の実現に向け て	2 デジタル変革を加速する取組について、デジタル化、IoT、AIについて、もっとわかりやすい表現をしてほしい。SDGsの理念に「誰1人取り残されない」とあるが、計画の文を読むだけでピンとこなくてわからなくて、市民が取り残された気持ちにならないようにしてほしい。実際に、デジタル化で市民の中で取り残されたと感じている人たちもいる。現在、富士市の地域通貨的なふじペイが富士市の全ての地域では使いにくい。たとえば、松野地区等。大手のチェーン量販店や大手スーパーでも使用できない業者がある。計画には、デジタル化を進めても取り残されそうな人に対してどう対処するのかという配慮も必要である。	デジタル化、IoT、AIについては、用語説明を加えるなどの対応を図ります。 SDGsについては、基本構想案では、総合的な説明としていますが、基本計画中においても、各施策と結びついた形で記載していくことを予定しており、理解しやすい表現や位置づけを考えていきます。 また、デジタル化を加速する一方で、デジタル格差を生じさせない取組は大変重要であると考えており、今後策定する基本計画において位置付けたいと考えています。